

2025 年度 国際観光学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	青木 洋高
基礎ゼミのテーマ	「魅力が伝わる地域プロモーション」 地域の魅力を、届けたい相手（ターゲット）に届けるための地域プロモーションについて学習します。地域の思いを一方向的に「伝える」ことではなく、しっかりとメッセージとして潜在的な顧客（旅行者）に「伝わる」ための方法を身に着けます。また、フィールドワーク（グルメプロモーション）も実施する予定です。
サブテキストなど	適宜、資料を配布します。
お勧め対象	（グルメを活用した）地域プロモーション、メディア戦略に興味がある方。

担当者名	生田 亨
基礎ゼミのテーマ	「旅行業とツーリズム産業」 ツーリズム産業とは、航空会社、鉄道会社、バス、船舶等の運輸業、ホテル・旅館の宿泊業、観光地やテーマパーク、飲食業などで構成され、それらを商品化し、ビジネスにするのが旅行業です。本ゼミでは、各産業の基本的な仕組みを学び、現在の課題をグループワークで研究・調査していきます。
サブテキストなど	適宜資料を配布します
お勧め対象	旅行業やツーリズム産業に興味があり、進路として検討している人

担当者名	海津ゆりえ（研究室 3527）
基礎ゼミのテーマ	「人に優しいまち」をデザインしよう！ この講義では、文献研究とフィールドワークを通して「人に優しいまち」について学び、調査し（フィールドワーク）、考えます。文教大学の周辺を Walkable で人にやさしいまちにしましょう。
サブテキストなど	講義内で指示します。
お勧め対象	フィールドワークの技法を学びたい、まちづくりに関心がある、地域の人々と話したい、グループワークに興味がある学生や、以上が苦手だけれど身に着けたい学生にお勧めです。

担当者名	久保 泉
基礎ゼミのテーマ	「ホテル業界入門」 コロナ禍を経て、日本のみならず世界のホテル業界の状況、抱える課題、そしてそれに対する取り組みなどをグループワークで調査・研究し、ホテル業界に対する理解を深めていきます。
サブテキストなど	適宜、資料を配布します。
お勧め対象	ホテル・旅館等の宿泊業界に興味関心がある人

2025 年度 国際観光学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	小 林 勝 法
基礎ゼミのテーマ	「ツーリズムにおけるサステナビリティとDX」 近年、ツーリズムは大きな変革を遂げています。特に、サステナビリティとデジタルトランスフォーメーション（DX）が重要な要素として挙げられます。これらの変革は、旅行者の価値観の変化や生成 AI などの技術の進歩によって加速しており、ツーリズム業界を志す学生にとって、理解すべき不可欠なテーマとなっています。 そこで、これらの理解を深めるために、国連が定めた SDGs について学び、サステナブルツーリズムと観光 DX に関する政策や事例を探究します。これらの学びを通じて、文献調査やプレゼンテーションの技術を習得することも目指します。
サブテキストなど	主に観光庁の資料を使います。
お勧め対象	ツーリズムにおけるサステナビリティとDXに関心のある人

担当者名	種村 聡子
基礎ゼミのテーマ	「接客サービスのマネジメント」 人的サービスとデジタルサービスを比較しながら、客のニーズを満たすサービスの設計や運営はどのようなものかを考えます。ゼミの前半では新書を読みながら、レジュメの作成、発表、グループディスカッションを行います。後半では、サービスが提供される過程を図式化したうえで、覆面調査を実施し、改善点の提案を行います。
サブテキストなど	適宜資料を配布します。 石原直（2012）『接客サービスのマネジメント』日本経済新聞出版社．を使用する予定ですが、文教サービスでは入手が困難なため、教員が準備します。
お勧め対象	接客に興味がある学生、将来サービス業に就きたい学生にお勧めします。

担当者名	利根川 由奈
基礎ゼミのテーマ	【ヨーロッパの文化と建築】 ヨーロッパには観光名所として人気の建築が多くあります。この授業では、世界遺産に認定されているヨーロッパの文化遺産を事例として取り上げ、ヨーロッパの文化の形成について、また建築と観光の関係について考えていきます。グループワークやディスカッション、ディベートを多く行います。また、関連する建築や展覧会の訪問も予定しています。
サブテキストなど	授業内で提示します。
お勧め対象	ヨーロッパ文化に興味のある方。教会などの伝統的建築に興味のある方。現代的なデザインに興味のある方。世界遺産建築に興味のある方。

2025 年度 国際観光学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	中井 治郎
基礎ゼミのテーマ	コンビニのおにぎり、布団の敷かれた畳部屋、路上で酔いつぶれるサラリーマン。日本で暮らしている人々からすると当たり前の景色も、異なる視点を持つ外国人観光客から見ると「見るべき日本の景色」となることがあります。そこから新たな価値が発見されることもあれば、逆にマナー問題などのトラブルに発展することもあります。本ゼミでは自分の暮らす社会のさまざまな景色が新たに「発見」される現場を実際に見て歩き、そしてそこで見たことをレジュメやプレゼン、報告書を通して共有する訓練を行います。
サブテキストなど	適宜指示します。
お勧め対象	異文化コミュニケーションに関心のある人、自分の日常をいつもとちがった視点から眺めて「面白がる」ことができる人。